

二つの研修におけるグループワークの比較対照表

研修区分	いじめを見立てる力		いじめへの対応力	
ねらい	・「判断の観点」を意識した情報共有 ・初期判断の合意形成		・対応のための判断の合意形成 ・緊急的介入及び中・長期的な支援の検討	
	・「深刻化のリスク」の共通理解（二つの研修で共通）			
配付資料	①手順書※ ¹ ②資料1：検討項目の留意点 ③資料2：フローチャート及び支援の方向性 ④個人の振り返りシート※ ² ⑤事例：別紙「情報カード」（役割別） ↳ 共通情報・個別情報・関係図からなる		①手順書※ ¹ ②資料1：検討項目の留意点 ③資料2：フローチャート及び支援の方向性 ④個人の振り返りシート※ ² ⑤事例：別紙「現況のまとめ」 ↳ 情報カード（5担当）の内容を集約したもの	
	※1～3：研修区分によって内容が異なる 個別資料：3種※ ³ ①研修実施者（ファシリテーター）用資料 〔進行計画及び研修用スライド〕 ②司会者用資料〔進行台本〕 ③記録者用資料〔記録様式〕		個別資料：3種※ ³ ①研修実施者（ファシリテーター）用資料 〔進行計画及び研修用スライド〕 ②司会者用資料〔進行台本〕 ③記録者用資料〔記録様式〕	
必要物品	・模造紙 ・マジック（黒・赤・青・緑※ ⁴ の4色）		・模造紙 ・マジック（黒・赤・青・緑※ ⁴ の4色） ・付箋（赤・青※ ⁴ の2色）	
※4：色は推奨色				
グループの人数 役割分担	○標準7名（参加者の増減対応可） ・司会者…1名 ・記録者…1名（司会者と兼ねてもよい） ・参加者…5名（事例カード：5担当分）		○5名以上（推奨5～8名） ・司会者…1名 ・記録者…1名（司会者と兼ねてもよい） ・参加者…3名～	
研修時間	標準60分（導入・ワークの説明を含む）		標準60分（導入・ワークの説明を含む）	
ワークの内容 （右：時間の目安）	・情報整理（個人の判断）	6分	・状況確認	5分
	I：情報収集・状況整理	14分	I：深刻化のリスク	13分
	II：深刻化のリスク	10分	II：対応のための判断	7分
	III：初期判断（グループの判断）	10分	III：対応方針（支援・指導）	18分
	・グループでの振り返り	6分	・グループでの振り返り	7分
* 導入・説明を除く				
追加を推奨する 活動内容	・各グループの初期判断の全体共有 ・事例ワークに関する自由な意見交換 （個人の振り返りシートの記入と回収）		・各グループの対応方針の全体共有 ・事例ワークに関する自由な意見交換 （個人の振り返りシートの記入と回収）	